



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

お話を聞いて、「そんな事が生まれる前にあ、たんた…」

「もう二度と戦争をしてはいけない。」

「人が死んでしまうのはためた」と思いました。

お話を聞いているだけでも悲しくな、てきて、

泣きそうにな、てしまいました。正直、戦争をしている

とき、日本はバカだ、たんたな」と思、てしま、

ました。高、い者も若、い人も、自分は死にたくない

と思、ていても日本のためだ、と云われ、

て、大事な命を無くしても日本がえらいんだ、と、

なんてすごくバカなんだ、と思、ていました。

原爆先生の授業を受けて、私だったら何か出来た

だろうか、何をしてあげられただろうか。そう考える事の

出来る授業でした。そして今は、簡単に、死ぬ、死にたい、

なんて言えないなと思、ました。

私は一生死ぬまで、戦争をしてはいけないと思、ながら生きています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日の原爆先生の授業で改めて原爆のことが分かりました。

広島県にどのようにして原爆が落ちたのか、など、くわしく教えていただきました。とても分かりやすい授業でした。

「アーン」「アーン」と言っていたらいきなり「バーン」と言っていたので、びっくりしました。これだけで「アーン」と

びっくりしたけれど、実際に体験した人はこれ以上にあついていたと思うし、すごく怖かったです。

エラゲイはお母さんの名前を呼んでいたし、候補になった都市などが初めて知れたことにもあつきました。

熱線は7000度で太陽よりも熱いとは想像がつかない話で

肌がはがれたり、むけてそこから白い油のような物がたれてきたり、とてもかわいそうだと思います。

昔は戦争があつたりして、悲しい、怖い思いをしたと思います。だけど今の世の中は平和です。なので平和は、とても貴重なんだと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話を聞いてすごく悲しい気持ちになりました。原爆が落とされた瞬間 広島市が一瞬にして変わってしまったことを考えるとなにも言えない気持ちになってしまいます。でもこの状況の中心も折れず悲しい気持ちで涙を流しながら任務を終えた原爆先生のお父さんはすごいと思いました。僕も心を折れずに任務を果たすことを見習って生活に生かしたいです。話は変わりますがウチが1kg爆発しただけで広島があんな風に何もなしに近い風景になってしまったらと思う衝撃を受けました。自分がその土場にいるように感じる原爆先生による授業にあっとうされました。このような機会でも原爆先生による貴重な特別授業をしていただきありがとうございました。この特別授業で学んだことを生かしつつを大七かにしながら生活をしてまいりたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/29

私は今まで、戦争や原子爆弾について、ただ、漠然とした思いしかありませんでした。しかし今回の原爆先生の授業を受けたことにより、^{「原爆」}への思いが大きく変わりました。

原爆先生、地田さんのお話を聞いて感じたことは、まず、実際に原爆が投下された現状を目の当りにした方のお話は違うなということです。今まで、絵本で戦争について読んだり、教科書で学んだりした時には、もちろん「こわいな、戦争は二度としてはいけない」というような気持ちもありましたが、どこか現実味が無く、違う世界で起きたことのように感じていました。けれど、実際に原爆に関わった義三さんのビデオや、義三さんの息子さんの地田さんのお話は、心に迫るものがありました。

人間が発達していく上で原子爆弾が作り出されるということは必要だったかもしれませんが、しかし、原爆を作ることかできるほど発達していたなら、実際に原爆を投下した際に生じる被害くらい予想できたはずでは？。それなのに投下してしまった、人間に人間を大虐殺させてしまった戦争とは一体何なのでしょうか。私は、私がこれから大きくなり大人になっても戦争を望む人には絶対になりたくない。今回の授業を受けて、心の底から思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いて、あひまだった原爆のこと、くわしいことを知ることができました。
教科書にのっているのは、極わずかな情報でしかもあひまな情報でしかなく、
「戦争」「原爆」としてもよく分からないことばかりだったけど、原爆先生のお話をき
いて、戦争の残こさ悲惨さを知ることができました。

私が特に心に残ったこと驚いたことは、太陽の温度は6000℃、原爆の温度は7000℃
という事です。太陽より熱く、衝撃波のものすごい原爆で無条件に亡くなった人の気持ち
を考えただけで、どんなに怖かったか、ととても辛く、悲しくなりました。

心に残ったのは、外国の原爆を落とすときのビデオです。あんなに辛く悲しいの
に、機長さんは笑っているというか、決して悲しいという感情がないように感じまし
どれだけのいかにあるか分かりました。外国(落とす側)からの視線がとても心に
残りました。

原爆先生の今回のお話で、原爆のときの人々の様子や、原爆のいかに、怖さなどを
知ることができました。そして、発達のしていない当時よりもいかに強い原爆を
もう二度と、全世界で使ってはいけない。と話を書いて、更に強く感じました。
貴重なお話ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

話を聞いて、私が知っていた事以外でも、初めて知った事の方が多かったです。被爆した方は、本当にかわいそうだなあと思ったし、痛がただらうなあ、つらかただらうなあと思いました。

特におどろいたことは、原爆の熱さが7000℃ということでした。

想像してみると、直径200mで7000℃の爆発した原爆が600m上の空にあると思うと、おそろしいなと思いました。

投下直前の広島の写真と投下後の写真を見比べてたら、原爆の破壊力がどれほど強いのか分かりました。

私は、原爆の写真など見たことがなく、どういふものか全く分かりませんでした。でも、写真とお話を聞くと、重さが約4tで、長さが3.12mということが分かり、とてもびっくりしました。

今回のお話を聞いて、あらためて、原爆のこわさ、おそろしさが分かりました。もうこんなことをしないでほしいし、日本側も、しないでほしいです。人々を苦しめたり、死なせることは、いつ考えても、ダ"X"だ"と思うので、原爆というのは、1発で多くの人が亡くなってしまふ、おそろしいものです。二度と、同じことがおこらないように願っています。

先生のお話を聞いて、本当に良かったと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆がどれぐらいおそろしかったのかを
原爆先生の特別授業を受講しあらためて原爆がおそ
ろしいものだと分かりました。ぼくはそのときはまだ生まれ
はいませんでした。広島、長崎でどれぐらいの人が亡くなり
またのだろと思うと心が悲しかったです。ぼくが
生まれたときは戦争はない小学校でも戦争のくれ人もやば
り安全なときと生まれました。ぼくも友達にぼう言を言っ
ときもあります。けれどこの話を聞いて今思うと命がど
れだけ大切なものなのかがすごく分かります。
今は戦争はないけれどなとしたいじめや、なかで自殺
に追い込んでしまうことがあつた。あつたけれど友達が
いやがたりいじめられてきたら命を大切に思いやめなと注意
します。戦争中では食べ物、家がなくなくなりました。
今は、食べる物はあるし家もあります。食べ物も好き
きらいしないで食べ物を食べようと思いました。
今回の話を聞いて全てのものがどれだけ大切なのが、
すごく分かりました。服がなくてまたキレイにたたくと思
いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこウ

表

名前は裏面に記入してください

先日は広島原爆について詳しく教えていただき、ありがとうございました。国語や社会、本などで広島、長崎に投下された原子爆弾や戦争の事は少し知っていましたが、池田先生の話はその想像をはるかにこえたものでした。太陽よりも高いウランの外周温度。音速をこえる、衝撃波の速さ。生き延びたとしても、一生つきまとう放射線、それが、被爆率70%、死亡率40%という最悪の結果を生み出したんだなと思いました。他にも特におどろいたのは原爆を落とす都市の候補が6つもあったことです。もし、当時のアメリカの科学技術が発達していれば、広島に投下された「リトルボーイ」や長崎に投下された「ファットマン」のような物が6つすべての都市に投下されてしまったとしたら、想像するだけで鳥肌が立ちます。また、昨年5月にアメリカのオバマ大統領が広島を訪問しましたね。スピーチはとても感動しました。今回の受講では知らなかった事や改めて気付かされた事が多くありました。広島、長崎で起きたこの悲劇を忘れないで平和な世の中へ一歩一歩、歩んでいきたいと思っております。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

私は、小さいときに、広島に行ったことがあります。その時に聞いた原爆された時の様子や広島
の平和記念館に行った時の気持ちを思い出
しながら今回の「7000℃の少年」という話を聞いて
いました。今回聞いた中で、すごいなと思った
のが原爆先生の父、池田義三さんが、原爆
を受けた、人間ではないような姿の被爆者が
助けを求めているのにこたえようとして、手をさしの
べてあげたことです。きっと私だったら、怖くて手を
さしたすくともしてあげられないでしょう。また、今起
きていることが現実なのかさえもわからなくなっ
てしまうと思います。それと、原爆先生の言った、広島平
和記念館の被爆者のマネキンを見たときの義三
さんの「きれいすぎる」という言葉が深く胸に残りまし
た。私が見た被爆者のマネキンよりももっと悲
さんな、想像もできないような光景があの日
に起きていたということなので、私はこの話をずっと胸
に残し、これから皆に1945年8月6日の出来事を伝
えていきたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

原爆先生のお話を聞いて、教科書では分からなかった原子爆弾や広島の様子がよく分かりました。特に、原爆先生がとつぜん話をやめた時に鼻息があらくなってどうしたのだろうと思わずと待っていたらとつぜん大きな声かして耳がキーンとして何が起きたのだろうと思っとてもびっくりしました。

後からその大きな声は広島に原子爆弾が落ちた時の音だと分かり、一瞬で街や人が全て消えてしまう音はとても大きくこわい音でした。

原爆先生の話聞くまでは、テレビの映像などで原爆のきのこ雲を見た事はあったけれど原爆が落ちた時の音までは知らなかったのので音を聞いて原子爆弾はとてもおそろしい兵器だと改めて感じました。

様々な怖くて悲しい話を聞いて広島の前爆ドームや資料館などでよりくわしく原爆について知りたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

1/29

原爆先生の特別授業を受講して、私は当時の「どんなに辛かったか」を実感しました。でも私は、当時の方より辛さがわかりませんか？話を聞いてるだけでも、悲しい気持ちや、辛い気持ちが伝わってきました。

私のおばあちゃんは、昭和19年生まれで、広島に原子爆弾が投下された時は、1才程であまり覚えてないそうですが、少し当時のことを教えてくださいます。当時は逃げろのみに必死で、あまり分からなかったみたいで自分の事や当時の状況は聞いたことありませんか？、おばあちゃんがお母さんから聞いた話しなどを教えてくださいます。でも、やはり原爆先生のお話しの方がわかりやすく、その時の音も再現されていて、広島の原爆場所にいるような感じでした。耳を塞ぎたくなるような話しもあれば、怖い話しでも、もっと詳しく聞きたくなるような話しもありました。決して楽しくはありません。でも、広島の原爆について詳しく知ることのできる貴重な時間でした。その貴重な2時間でたくさんを知ることができ、Q&A形式で2問程ありましたか？とこちらも難しかったですか？色々なことを知りました。

この先、二度とこのようなことが起こることはないと思いますが、もしも起きてしまった場合は、原爆先生のように、この地域のみなさんに、伝えていきたいと思いました。

今回は、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私が思っていた以上のショックでした。原爆にあい、大やけどを負った人はひふかただれて皮がむけ、重傷の場合は骨まで見えそうだと聞きました。なんてさくなくなのだろう。想像するだけで鳥はだか立ちソワソワ、というかんかくなりました。実際に見て体験をした原爆先生のお父様は、どれだけ悲しく、苦らくこわくなったのか。私は今回の原爆先生の受講をして2点学んだことがあります。1点目は原爆が行なわれた場所、時刻、爆ゆき音などそのような知識をみにつけさせてもらいました。2点目は人の感情です。原爆にあい、「さわい、なにかおこ、たのた」などの不安、助けたいのに助けられない悲しみ。そのような感情が言葉だけでも感じました。そして一番感じたのはせくな、た方への気持ちでした。ビデオでは涙を流していた姿もありました。私は、せくな、た方、原爆先生、原爆先生のお父様、せくな、た方のご家族様へおくり申しあげます。そして最後に、この平和な世の中がこの先、と続いていてほしいと思います。今回はとても貴重な授業になりました。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

原爆について国語や社会で少し聞いた時は、¹⁷であまり予想できなかったけれど、今回この話を聞いて、広島でおきた原爆の残酷さ、悲しさがすごく分かりました。池田さんのお父さんが経験したことをお話ししてくださりそのお話しの中では、人の皮膚が落ちることや、一瞬で人が亡くなってしまったこと、聞いただけで涙が出てきました。

今私たちがとても恵まれているんだなと、思いました。もし、今原爆が落ちたら考えるだけで、体がふるえてきました。原爆が落ちないためには、戦争をおさないように、私たちが世界の平和を守っていかねばいけないなと思いました。これから、つらいこと、苦しいことがあたら、そのお話しのことを思い出して、原爆にあつた人はもっと辛い思いをしたんだなと、思い自分はそのくらいでは負けないと思うようにします。そして、今回お話ししてもらったことは、絶対に忘れては、いけないと思ひます。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

あまり原爆のことを知らなかったのですが先生の授業でよく分かりました。広島下の大きな被害や悲惨な状況のことも分かりました。特に兵士の方々に助けを求めてきたという話にとても胸がいたみました。どのくらいの熱さだったのか、死んでしまった人の数など色々なことが知れてとても勉強になりました。先生のお父さんのビデオに私はとても感動しました。私も原爆ドームに行ってみたいなと思いました。9000℃などというとても熱い中死んでしまった人たちはとても苦しかったのだろうなと思いました。女の方はよく泣けなかったなとても感心とおおろぎでした。リトルボーイの重さや時速、広島に落ちる落ちる方などとてもあまり知らなかったけれど話を聞いて怖さやおそろしさがよく分かりました。17歳という若さで兵士に入隊したということはとてもすごいことだと思います。戦争は二度としてはいけないということが今回の授業でさらに強く思いました。これから戦争のことを絶対に忘れてしまっではいけないこと



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

始めに「7000℃の少年」という物語ですと言われたとき私は不思議に思いました。まず、7000℃なんて想像もつかない熱さだということ、少年とはどういう意味なのだろうということに興味を持ちました。私は原爆先生の父、池田義三さんが原爆にあつた後のトラックに乗っている場面が心に残りました。義三さんに助けで…と言う人たちがいて、手を引き上げようとする皮がはがれ落ちて、義三さんの助けたいけど助けられないくやしさと皮がはがれ落ちた人のいたみにおそろしさで鳥はだがたちました。私は原爆先生の特別授業を受けて、同じようなことはもうおきないでほしいと思いました。これから次の人たちにもこの原爆について教えて自分もこのことを忘れないようにしていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

先日は、大森第一小学校に来ていたとき、ありがとうございました。とても貴重なお話をしました。

「原子爆弾」の大きさ、原子の名、アメリカ軍の考え、そして「原子爆弾」のおそろしさがよく分かりました。今まで、「原子爆弾」は国語の「平和のとりに築く」という授業と、社会の歴史でしか習ったことがありませんでした。それでも、具体的に下はありませんが原子爆弾のこわさは伝わりました。今回の授業で、広島の子供たちの苦しみに正面から向き合い、それに対する自身の考えを考えることができました。お話を聞いている時は、「こわい」等と思うことがありました。ただ、後で考えてみると、「これが現実なんだ」という思いや「目をそらしてはいけない」などという考えが沸き上がってきました。

過去の日本にあった、悲しみや苦しみを忘れていくことなく、続けていくことが同じことをくり返さないために大切だとも思いました。

本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

素直に、怖いことだと思いました。
ぼくのお父さんの実家が広島なので、
原爆ドームにも行ったことがあります。
お父さんから、原爆の温度や、丁字路字を目がけた
ことはしていましたが、しかし人が一瞬で
消え死んだことや、生き残った人が居たこと、爆撃機^{ばくげき}の
名前など知らないことがたくさん知れました。
また、原爆あわれたお父様の体験談を、
聞かせてもらったとき、途中で原爆先生が
涙をこぼされました。その場面から、いかにも
悲しかったなあと改めて思いました。
原爆から70年たつた今でも、言語継^ごがれて
いるので、何十年、何百年、何千年先でも、
言語継がれればいいなあと思いました。
日本人として、決して、
忘れてはいけない言語ということが
良く伝わってきました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/27

原爆を落とす候補として6つの都市の名前が上がっている。京都は、爆破が良くできると言っている。でも人間にとって大切な文化財だからといって京都の爆破をやめたなら、広島にも大切な物はあったと思うしなぜ京都はやめたのに広島と長崎にやめたのかなと思いました。原子爆弾が落ちて来た時は、7000℃という考えられないぐらいの温度でそれがスカイツリーぐらいの高さまで落ちて来たというのは想像しただけですごく怖いかったです。階段にすわっていた人が爆発したしゃんかんになくなり階段にその人のかけのしみが残ったという事は、その何秒かの間にあとかたもなく死んでしまったのでとてもおそろしいなと思いました。原爆を落とされるきかけを作ったのは日本だから、この先日本はこのようなきかけを作ってはいけないし、このような物を他の国に落とすはいけないと思いました。この事を私生活にいかしていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生の特別授業を受講して、被爆者がかあいそ
うで、原爆が、とてもこわいということが分かり
ました。池田義三さんが書いた日記を、池田眞徳さん
が言っている時に、池田眞徳さんが、原爆が落ちてまわりの
音を大声でいきなり叫んだので、びっくりしました。

眞徳さんは、被爆者の手をひきおろそうとするとうでの
皮膚が原爆のせいで、はがれてしまうと言ったので、
少しこわかったです。被爆者が、痛い、助けて、と言て
いたと聞いて、かあいそうでした。

次は、資料をもとに、話してくれました。原子爆弾投下
都市の条件や、候補になった都市、投下された原爆などに
ついて知りました。他にも、衝撃波の速さは、音速より速か
り、5人に2人が死亡したなど分かりました。

最後の方には、「kg」これは何でしょうと問題を出されて、ウラニ
ウム(ウラン)だと知りました。ゴルフボールくらいのウランkgで、
広島市が石炭がけされたと知り、とてもこわくなりました。

最後に、義三さんが話している動画を見て、泣いていたの
で、とても悲しくなりました。

貴重なお話が聞けて、よかったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業は、とても貴重なもので、まったく知らないことを知ることができました。原子爆弾投下都市の条件や候補になった都市などを知り、びっくりしました。

もし、京都に原子爆弾が投下されたら、京都の大切な文化財がなくなつたかもしれないと思いました。

原子爆弾を投下するときに使われたエーライ・ブイは、機長・チベットの母さんの名前ということをはじめて知りました。

原爆は、太陽、6000°よりあつく全ての物は、とかされ、大半は焼け死んだと知ったときはとても怖かったです。人は一しゃんにして体の全て水をはわれ、ごなごなになり死んでしまふなんて、恐ろしいことなんだろうと思いました。

今日の原爆先生のお話は、よい勉強になりました。二度と広島や長崎のような悲惨なことはおきてほしくないです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私がこの特別授業を受講して改めて感じたことは、戦争の酷さと無惨さです。ある日、とっぜん死の固まりが降ってきたらどんな気持ちになるか考えたら、おそろしくてたまりません。もし自分がひ火暴して、道を歩いていたら、どんな気持ちなのか、もしかすると死んでしまうという恐怖で、感情がなくなってしまうと思います。まるでかるうじて生きている動物みたいです。原火暴先生のお父さんの見た光景は一生心に残ると思います。話でわかる光景ではなかつたんだと思います。原火暴トムのげがをした親子の展示を見て「きれいだと」言っただけの展示品では表わせないくらい生々しい光景が頭の中でめぐっているんだと思いました。この授業で核というのは絶対使ってはいけないということが改めて分かりました。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

太陽の表面温度が6000℃、リトルボーイは7000℃、中心は100万℃、600mの下は3000℃もしたら本当に熱...と思いました。リトルボーイの中に60kgのウランもあって1kgが爆発したのは、びっくりしました。ほとんどの人は被爆して死んで...たのに生ついたのは奇跡だと思いました。一番こわいと思ったところは、被爆した人が手をななめ前にだして「助けろ、助けろ」と言っていたことを聞いてこわい...と思いました。アメリカが原爆してもわりはな...と思いました。理由は、昔に日本がアメリカに戦争をしかけられたのがわりはな...と思いました。でもしかけたのは、政不...で市民は関係ないのにその市民がやられて...るのはイヤでした。池田さんは、原爆ドームの博物館できか...きかると...。...本当...いたのだからその人からしたらきか...ばんだな...と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/29

私は、原はく先生の授業を受けて、当時の広島は、現在では想像できないほど熱くて、苦しい地域だったということが分かりました。原はく先生のお父さんは、つらくても、熱くても、苦しむ人々のためにかん張って生きてたくましいと思いました。また、現在は、大頭領で、ごたごたしているけど、仲のいいアメリカとも、太陽の表面温度より約1000℃も高い高温な原はくを落とされるほど激しい戦争をしていると知りおどろきました。私は、最初は何となく、物語の一部のようかにはひやりと話を聞いていたけど、と中からまるで、自分も、戦争していたころの広島へつれて行かれるんじゃないかと思うくらい集中して授業を受けられました。そして、この授業で私が感じたのは戦争というもののおそろしさ、そして歴史のつながりです。私は、今回の授業で学んだことをふまえて、これからの学習へ取り組みたいです。また、広島や全国で起こった戦争が今につながっていること、昔の人の思いなどを忘れないで過していきたいです。